

平成29年9月15日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

長期使用の電気冷蔵庫についての注意喚起、空気清浄機に関する事故(リコール対象製品)について

(詳細は次頁以降参照。)

1. ガス機器・石油機器に関する事故
該当案件なし
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 5件
(うち空気清浄機1件、照明器具(センサー付)1件、
電気掃除機(充電式、モップ型)1件、電気冷凍庫1件、
電気冷蔵庫1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 8件
(うち温水式浴室換気乾燥暖房機1件、電気温水器1件、
パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)1件、
マルチタップ1件、玩具(車)1件、換気扇1件、電気冷蔵庫1件、
オーブントースター1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件なし

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 東京芝浦電気株式会社（現 東芝ライフスタイル株式会社）が製造した長期使用の電気冷蔵庫についての注意喚起(使用中止)（管理番号：A201700353）

① 事故事象について

事務所の休憩室で、東京芝浦電気株式会社（現 東芝ライフスタイル株式会社（法人番号：4010001116880））が製造した電気冷蔵庫を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

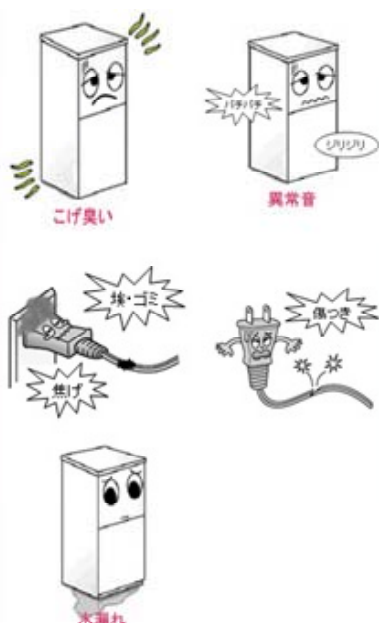
※当該製品は長期使用（35年以上）された製品

② 使用者への注意喚起

長期使用の電気冷蔵庫は、熱、湿気、ほこり等の影響により、内部部品が劣化し、発煙・発火するおそれがあります。

現在使用している電気冷蔵庫で、次の症状がみられる場合は、安全の観点から、コンセントから電源プラグを抜いて、使用を中止するとともに、速やかに販売店又は下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、納屋や物置、事務所、学校等で長期間使用されている電気冷蔵庫がありましたら、併せて御確認ください。



- 1) 焦げ臭いにおいがする。
- 2) 異常な音（ジリジリ、パチパチなど）がする。
- 3) ビリビリと電気を感じる。
- 4) 長年、電源プラグを挿したままになっていて、ホコリや湿気がたまっている。
- 5) 電源コードや背面下部の電線（リード線）に傷がついている。（冷蔵庫の下に挟まれたり、ネズミにかじられたりしていませんか）
- 6) 底面部に水漏れがある。
- 7) 前面下部の蒸発皿に変形や穴あきがある。

同社は、2008年（平成20年）11月5日から「東芝冷凍冷蔵庫についてのお願い」（最終改訂：2016年9月8日）としてウェブサイトにて注意事項を掲載し、1983年（昭和58年）以前に製造された「東京芝浦電気株式会社」又は「株式会社東芝」製の電気冷蔵庫（対象製品）をお持ちの方に対し、使用を中止するよう呼び掛けています。

<対象製品の確認方法>

「製造年月」は、冷蔵庫扉の内側又は側面に表示されています。

※表示場所は、機種により異なります。



【問合せ先】

東芝ライフスタイル株式会社 東芝冷蔵庫受付センター

電話番号：0120-731-808

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.toshiba.co.jp/tha/info/090128.htm>

③消費者庁の注意喚起

「扇風機等の家電製品の経年劣化事故に御注意ください」（2016年6月14日公表）

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/160614kouhyou_1.pdf

(2) ダイキン工業株式会社が製造した空気清浄機について（管理番号：A201700344）

①事象について

ダイキン工業株式会社（法人番号：8120001059660）が製造した空気清浄機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②ーア 2010年（平成22年）4月9日からのリコール（無償点検・修理）

●当該製品のリコール（無償点検・修理）について

同社は、当該製品を含む対象製品について、当該製品の電気集じん部の放電線が集じんフィルタに接触し、集じんフィルタに付着した物質が湿気等により導電性を帯びて集じんフィルタの電圧が高まり、集じんフィルタと脱臭フィルタの間で放電が発生して出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2010年（平成22年）4月9日にプレスリリース及びウェブサイトへの情報掲載、翌10日に新聞社告を行うとともに、販売ルートへのダイレクトメールの送付、販売店リストによる電話連絡、チラシ配布等を行い、対象製品について無償点検及び修理（電気集じん部の放電線と集じんフィルタが接触しない囲み形状の部品に交換）を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201700344）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

●対象製品：製品名（商品名）、機種、輸入期間、対象台数

製品名 （商品名）	機種	輸入期間	対象台数
空気清浄機 （光クリエール）	ACM65TG-W、ACM75G-W、ACM75H-W、ACM75J-W、MC708J3-W、MC708K-W、MC708-W、MC709B-W、MC709J5W、MC709K-W、MC709Y-W、MC709-W、MC75JBB-W、MC75JJ6-W、MC75JKS-W、MC75JK-W、MC75JY-W、MC75J-W、MC808J3-W、MC808K-W、MC808-W、MC809B-W、MC809J5PW、MC809K-W、MC809Y-W、MC809-W、MCA70E3-W、MCA70E4-W、MCA75JE5-W、MCA80E3-W、MCA80E4-W （31機種）	2006年8月 ～ 2009年7月	616,199
加湿空気清浄機 （うるおい光クリエール）	ACK75J-W、MCK75JBB-W、MCK75JE5-W、MCK75JJ6-W、MCK75JKS-W、MCK75JK-W、MCK75JY-W、MCK75J-W （8機種）		96,297
合 計			712,496

2010年（平成22年）4月9日からリコール（無償点検・修理）を実施
改修率：62.3%（2017年7月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201700344）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中でリコール同事象と考えられるもの及びリコール事象かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	1	火災	2013年度	0	—
2016年度	0	—	2012年度	2	火災
2015年度	1	火災	2011年度	2	火災
2014年度	0	—	2010年度	0	—

<対象製品の確認方法>

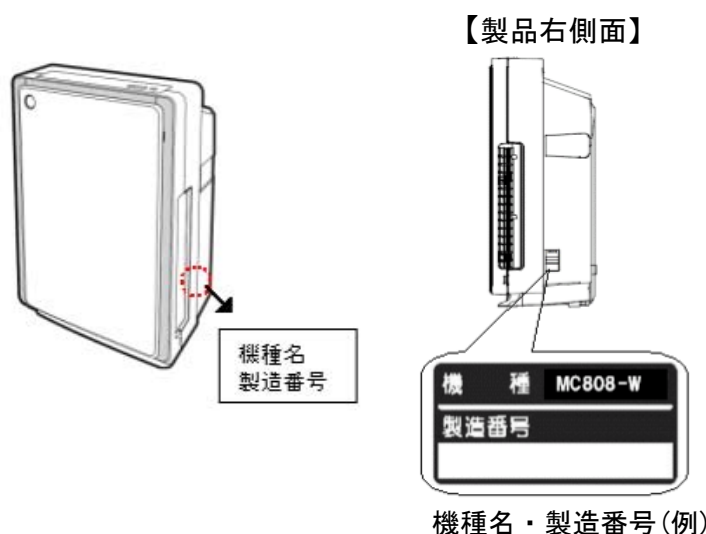
下記の図を参考に対象の機種名、製造番号を御確認ください。

※機種名、製造番号は製品側面又は製品背面に表示があります。

機種によって、外観形状が異なりますので、機種名を御確認ください。

ウェブサイト：<http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2010/100409/1.html>

<http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2010/100409/2.html>



②ーイ 2014年（平成26年）10月17日からのリコール（無償点検・修理）

※2015年（平成27年）5月15日から対象を拡大

●当該製品のリコール（無償点検・修理）について

同社は、当該製品を含む対象製品について、当該製品のファンモーターの製造工程上の不具合により、ファンモーターに内蔵された電子部品（チップコンデンサー（電気を蓄えたり放出したりすることで、電気回路上のノイズ（不要な電気信号）を取り除く電子部品））がショート（短絡故障）し、過大電流が電気回路に流れたことでファンモーターが発熱・発火し製品の発煙・発火に至った可能性があることから、事故の再発防止を図るため、2014年（平成26年）10月17日にウェブサイトへ情報を掲載するとともに、翌18日に新聞社告を行い、対象製品について無償点検及び修理を実施しています。

また、同社は、当該リコールの対象製品以外にも点検及び修理が必要な製品があることが判明したため、リコールの対象範囲（機種及び台数）を拡大することとし、2015年（平成27年）5月15日にウェブサイトへ情報を掲載し、翌16日に新聞社告を行っています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201700344）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

●対象製品：機種名、製造番号、対象台数、製造期間

※対象製品については、下記ウェブサイトにて確認ができます。

ウェブサイト：<http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017/2.html>

- 1) 検索ボックスに、お手持ちの製品の機種名を入力し、「検索」ボタンをクリックしてください。
- 2) 入力した機種が、対象に該当する場合は、表の機種名に色がつきます。

(7) 2015年5月15日に追加した対象製品の機種名、製造番号は以下のとおりです。

※加湿機能付き空気清浄機「うるおい光クリエール」と除加湿清浄機「クリアフォース」については、追加はありません。）

◆空気清浄機「光クリエール」（2006年製）

機種名	製造番号	機種名	製造番号
MC808-W	C000101～C001600	MC808J3-W	C000101～C000220
MC808K-W	C000101～C000900	MCA80E3-W	C000101～C000950

(4) 2014年10月17日に社告を行った際に公表した対象製品の機種名、製造番号は以下のとおりです。

◆空気清浄機「光クリエール」（2006～2007年製）

機種名	対象製造番号	機種名	対象製造番号
MC808J3-W	C000221 ～ C002620	MC808K-W	C000901 ～ C005395
MC808-W	C001601 ～ C019185	MCA80E3-W	C000951 ～ C004890
MC809B-W	C000101 ～ C000230	MC809J5PW	C000101 ～ C000240
MC809K-W	C000101 ～ C000180	MC809-W	C000101 ～ C000240
MC809Y-W	C000101 ～ C000260	MCA80E4-W	C000101 ～ C000350

◆加湿機能付き空気清浄機「うるおい光クリエール」（2009～2010年製）

機種名	対象製造番号	機種名	対象製造番号
ACK75K-W	C000101 ～ C180507	ACK75K-P	C000101 ～ C018100
ACK75K-T	C000101 ～ C030417	MCK65KBB-W	C000101 ～ C017935
MCK65KE6-W	C000101 ～ C014856	MCK65KJ7-W	C000101 ～ C019836
MCK65KKS-W	C000101 ～ C027645	MCK65KK-W	C000101 ～ C012285
MCK65K-W	C000101 ～ C025822	MCK75KE6-W	C000101 ～ C011628
MCK75KJ7-W	C000101 ～ C010628	MCK75KK-W	C000101 ～ C005311
MCK75K-W	C000101 ～ C034215	MCK75K-P	C000101 ～ C009321
MCK75K-T	C000101 ～ C013350	ACK75L-W	C000101 ～ C065735
ACK75L-T	C000101 ～ C016750	MCK75LBB-W	C000101 ～ C004735
MCK75LBB-T	C000101 ～ C001000	MCK75LE7-W	C000101 ～ C003295
MCK75LKS-W	C000101 ～ C002505	MCK75LK-W	C000101 ～ C001740
MCK75L-W	C000101 ～ C004725	MCK75L-T	C000101 ～ C002420

◆除加湿清浄機「クリアフォース」(2009～2011年製)

機種名	対象製造番号	機種名	対象製造番号
ACZ65K-W	C000101 ～ C022915	MCZ65K-W	C000101 ～ C016727
MCZ65KE6-W	C000101 ～ C007146	MCZ65KKS-W	C000101 ～ C005926
ACZ65L-W	C000101 ～ C007665	MCZ65L-W	C000101 ～ C011070
MCZ65LE7-W	C000101 ～ C004660	MCZ65LKS-W	C000101 ～ C007650

○対象台数:579,414台、製造期間:2006年8月～2011年4月

2014年(平成26年)10月17日からリコール(無償点検・修理)を実施

※2015年(平成27年)5月15日から対象を拡大

改修率:47.7%(2017年7月31日時点)(対象拡大分を含む。)

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故(管理番号:A201700344)発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故(リコール開始の契機となった事故を含む。)の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	0	—	2013年度	0	—
2016年度	0	—	2012年度	1	火災
2015年度	0	—	2011年度	0	—
2014年度	1	火災	2010年度	1	火災

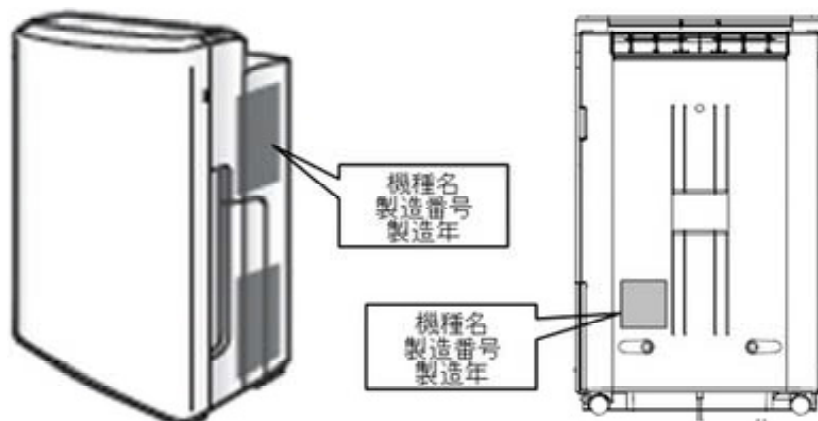
<対象製品の確認方法>

下記の図を参考に対象の機種名、製造番号を御確認ください。

※機種名、製造番号は製品側面又は製品背面に表示があります。

機種によって、外観形状が異なりますので、機種名を御確認ください。

ウェブサイト: <http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017/2.html>



③使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ダイキン工業株式会社

電話番号：0120-330-696

受付時間：平日、土・日・祝日ともに24時間受付

ウェブサイト：

(②-ア) <http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2010/100409>

※同ウェブサイトから無償点検・修理の申込みも可能です。

(②-イ) <http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017>

※同ウェブサイトから無償点検・修理の申込みも可能です。

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：柳川、平野、清重

電話：03-3507-9204（直通）

FAX：03-3507-9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：橋爪、高橋

電話：03-3501-1707（直通）

FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

該当案件なし

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700344	平成29年8月10日	平成29年9月11日	空気清浄機	MC808K-W	ダイキン工業株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年8月30日 平成22年4月9日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:62.3% 平成26年10月17日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:47.7%
A201700346	平成29年8月22日	平成29年9月11日	照明器具(センサー付)	SLO-150N	株式会社新興製作所(輸入事業者)	火災	異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	岩手県	平成29年9月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201700350	平成29年9月2日	平成29年9月12日	電気掃除機(充電式、モップ型)	EK-30	株式会社アピコ(輸入事業者)	火災	当該製品を充電中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201700352	平成29年9月10日	平成29年9月12日	電気冷凍庫	DF-300	株式会社ダイレイ(輸入事業者)	火災	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	青森県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700353	平成29年9月2日	平成29年9月12日	電気冷蔵庫	GR-2308T	東京芝浦電気株式会社(現 東芝ライフスタイル株式会社)	火災	事務所の休憩室で当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	熊本県	製造から35年以上経過した製品 平成20年11月5日から使用の中止等の呼び掛けを実施(特記事項を参照)

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700345	平成29年8月31日	平成29年9月11日	温水式浴室換気乾燥暖房機	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201700347	平成29年8月30日	平成29年9月11日	電気温水器	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	宮崎県	製造から20年以上経過した製品
A201700348	平成29年9月1日	平成29年9月11日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	火災	異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品の施工状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201700349	平成29年8月23日	平成29年9月11日	マルチタップ	火災 軽傷1名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A201700351	平成29年9月2日	平成29年9月12日	玩具(車)	火災	火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201700354	平成29年8月11日	平成29年9月13日	換気扇	火災	倉庫で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	岐阜県	製造から10年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年9月1日
A201700355	平成29年8月18日	平成29年9月13日	電気冷蔵庫	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	平成29年9月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年9月5日
A201700356	平成29年8月8日	平成29年9月13日	オーブントースター	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	京都府	製造から20年以上経過した製品 平成29年9月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年9月7日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件
該当案件なし

照明器具（センサー付）（管理番号：A201700346）



電気掃除機（充電式、モップ型）（管理番号：A201700350）



電気冷凍庫（管理番号：A201700352）

